

## 北東アジア地域自治体等の環境保全に関する情報交流

### 沿海地方における主な環境問題について

#### 大気の現状

沿海地方の大気の現状は、自然、気象や企業、交通、生活環境、農業の影響が大きいと思われる。

汚染物質の排出量は、年間 250,000t に上る。沿海地方における大気汚染物質の発生源は 14,000 件以上、うち 8,000 件は管理されている。浄化施設によるガスなどの浄化率は 91.4% である。

毎年増加する交通量、車の排気ガス浄化設備の不足によって、交通はこれから大気汚染の主な原因になる可能性が高いと判断されている。

現在ロシア連邦の環境政策の中でも、大気汚染問題は最も重視されている。

#### 河川の現状

河川は、住民の生活と地域の経済発展のための重要な条件である。現在沿海地方における水の使用量は、淡水量の全体の 2.5% を超えることはない。しかし、淡水は均等に分配されていないため、地方の、主に南側に位置する約 71% の地域では、淡水不足の問題は深刻である。

2006 年には、天然水源から 588,000,000 m<sup>3</sup> の水が使用されている。また、399,000,000 m<sup>3</sup> の水は河川に排水されている。ウラジオストク市内に排水浄化施設がないため、このうち 6% のみが適切に浄化された水である。現在、排水浄化施設の企画・建設について検討が行われている。

ピョートル湾周辺の環境汚染がますます悪化しているところである。

#### 廃棄物の現状

廃棄物処理に関しても様々な問題が発生している。2006 年度の沿海地方における生活廃棄物と産業廃棄物の総量は 50,460,000t であった。うち産業廃棄物は 98%、固形生活廃棄物は 2% の割合となっている。ロシア連邦標準に定められた有害廃棄物は 8,230,000 t、全体の 16.3% を占める。

沿海地方における廃棄物処理・リサイクル業は発展し始めたところである。現在、ほとんどのリサイクル業者は、タイヤ、バッテリー、プラスチック類、紙類、水銀などのような、生活廃棄物に近い廃棄物のみを取り扱っている。リサイクル工場の数や、一日のリサイクル量が少なく、発生する廃棄物の一部しかリサイクルできない状況である。

沿海地方で発生する廃棄物の量が多く、リサイクル業者はそれに応じることが出来ない現状から、最終処分場での埋め立てが唯一の処分方法となっている。ところで、沿海地方内には廃棄物最終処分場が少なく、現在の環境基準と安全基準に応じた設備を持つ廃棄物最終処分はわずかである。廃棄物の埋め立てには 9,000 ha の土地が使用されている。

#### 放射線による汚染

放射線による汚染について、現在、環境モニタリングによって、放射線による汚染は発生していないと発表されている。

#### 生物多様性

沿海地方の生物多様性はとても豊かで、国際的な重要性を持つ。現在、沿海地方には 6 つの国立自然保護区域、自然公園、12 の環境保全区域、205 の自然記念公園、植物公園など、数多くの特別保護区域がある。2007 年 7 月ロシア連邦の指定によって、更に 2 箇所の国立自然公園が設立される。

## 沿海地方における環境保護・改善対策

沿海地方における主な環境保全の取り組みは以下の通りである。

総合洪水対策プログラム 実施期間 2003年～2010年  
淡水不足対策プログラム 実施期間 2003年～2010年  
廃棄物対策プログラム 前年に引き続きの実施。

上記の環境保全事業に毎年 200,000,000 ルーブルの予算が使用されている。

検討中・実施予定の事業は下記の通りである。

### 沿海地方における水質保全と復帰

2006年に沿海地方全予算における自然保護・環境保全に使用された金額は 612,300,000 ルーブルになった。

2006年に大気汚染浄化施設の効果の増加によって、大気における汚染物質の量は 2,800 t に減少した。昨年 197 ha の面積で土壌回復作業が行われ、現在、農業や森林植樹などに利用されている。

2006年には 18,700 ha の面積で森林植樹が実施されている。

廃棄物のリサイクル、収集、埋め立てを行っている民間企業の数も増加している。

まだ解決できていない環境問題は、選鉱により発生した廃棄物の処理である。選鉱廃棄物には数多くの天然資源が含まれており、無駄にせず再利用すべき原材料である。

排水浄化施設の建設はピョートル湾の環境にとって注目を集めている事業である。

現代の環境保全基準に応じた固形廃棄物処理・リサイクル工場の建設も計画されている。

更に、沿海地方政府は環境分野における積極的な国際協力にも力を入れている。現在沿海地方政府は下記の国際事業に積極的に参加している。

1. 日本海・黄海沿岸における漂着物調査（1997年から）
2. 富山県との渡り鳥の共同調査研究
3. 北東アジア青少年環境シンポジウム

これからも北東アジアおよび日本海地域の環境保全のため、環境分野における国際事業に積極的に参加していきたいと思う。